



東京大学先端科学技術研究センター LEARN

LEARN by TECHNOLOGY

東京大学先端科学技術研究センター LEARN が届ける 子どもの理解から始まる ICT 活用プログラム

## 魔法のキャラバン

# 知的障害のある子どもの学びや生活を支える ICT 機器の活用

～子ども・保護者・教育関係者のための講演会と機器紹介ワークショップ～

in 香川



参加費 無料

現地  
開催

2026. 2. 28 (土)

[午前の部] 9:30 - 12:10 (9:10 受付開始)

[午後の部] 13:30 - 15:30 (13:10 受付開始)

開催場所 香川大学教育学部附属特別支援学校（体育館）  
(坂出市府中町綾坂 889)

※暖房がありませんので、天候によっては、防寒対策をお願いします

※スリッパ（上履き）をご持参ください

【重要】必ずご確認ください

午前と午後で、対象とする子どもが異なります。申込時に【午前のみ／午後のみ／全日】を選択してください。

子どもによって、「わかり方」「伝え方」「できる形」はちがいます。  
ICTを、子ども理解から考える学びの時間です。

共催：東京大学先端科学技術研究センター LEARN・香川大学教育学部附属特別支援学校

協力：ソフトバンク株式会社（機材協力）・早稲田大学 嶽淵研究室

# 知的障害のある子どもの学びや生活を支えるICT機器の活用

## ～子ども・保護者・教育関係者のための講演会と機器紹介ワークショップ～

知的障害のある子どもたちの「わかり方」「伝え方」「できる形」には、大きな幅があります。本プログラムでは、午前と午後で対象とする子どもの発達段階と支援の焦点を分け、ICTを子ども理解から考える学びの場をつくります。午前は軽度知的障害・知的グレーゾーンの子ども、午後は重度知的・重度重複障害の子どもを中心に、学びや生活を支える具体的なICT活用を事例も踏まながら紹介します。

### 魔法のキャラバン in 香川

#### 講 師

中邑 賢龍（東京大学先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー）

坂井 聰（香川大学 教授）

巖淵 守（早稲田大学 教授）

赤松 裕美（東京大学先端科学技術研究センター 特任助教）

#### プログラム内容

午前の部 9:30 - 12:10 (参加対象者：保護者・教職員・教育関係者)

テーマ：軽度知的障害・知的グレーゾーンの子どもの学習や理解を支えるICTの活用

9:30 - 10:30 | 講演会 「子どもの理解の特性をふまえた見立てとコミュニケーションの工夫」

軽度知的障害からボーダーラインの子どもの発達の特性を手がかりに、子どもがどこでつまずいているのか、どう関わると理解が進むのかを整理します。

10:40 - 11:20 | ワークショップ (1) 「軽度知的障害のある子どもに役立つICT」

実際の生徒をゲストに迎え、ICTを活用した学びの場面を見学しながら学びます。

11:30 - 12:10 | ワークショップ (2) 「YouTubeやゲーム依存を防ぐ端末設定を学ぶ」

家庭でできる利用制限やフィルタリングの工夫を紹介します。

午後の部 13:30 - 15:30 (参加対象者：保護者・教職員・教育関係者)

テーマ：重度知的・重度重複障害の子どもの新しい教育を考える

13:30 - 14:30 | 講演会 「認知情報処理の観点から、知的障害を理解しなおす」

発達の段階を整理し、支援の焦点をどこに置くのかを考えます。

14:30 - 15:30 | ワークショップ (3) 「機器を体験しながら重度知的障害教育を考える」

意思表出や操作を支えるICTの体験や、現場に即したデモンストレーション

#### 参加費

無料

#### 対象者・定員

本イベントに興味のある教職員・教育関係者・保護者／80名程度

昼食：必要な方は各自ご持参ください（休憩室あり） 駐車場：あり（運動場使用可）

#### 申込期間

2026年2月27日（金）24時まで

※定員に達次第、申し込みを締め切らせていただきます。

#### 申込方法

以下よりお申し込みください。

<https://learn-softbank-2025kagawa.peatix.com>

※参加には事前の申し込みが必要です。【午前のみ／午後のみ／全日】を選択してください。



申し込みは  
こちら▶

## 「LEARN」とは

東京大学先端科学技術研究センター「LEARN」は、現代の教育課題を解決するための実践研究を行っています。社会の複雑化により、子どもたちの知識がアリティを失い、プログラマ化された教育によってレジリエンスも低下しています。効率化社会の中でユニークな子どもたちが排除されたり、全ての子どもに社会が標準的だと考える子どもに近づく努力が求められる現状を改善するため、「LEARN」は未来型のダイバーシティ教育モデルを提案・実証しています。これには、教育関係者向けの研修、子ども向けのアクティビティ、保護者向けの子育てプログラムが含まれています。

